本校および公開授業について



暁星国際流山小学校では、「心身ともに新時代をたくましく生き抜く国際人を育てる」ことを教育理念とし、英語だけでなくフランス語も取り入れ、イマージョン教育を推進しています。母語である日本語の力を高めることにも注力し、三つの言語の力を伸ばすことで、児童の世界観や視野・ものの見方や考え方を広げ、深めています。さらに外の世界に向けて発信していくことが大切だと考え、「“探究型教科横断学習”や“Special Japanese”（下記参照）」に取り組んでいます。

国際人としての第一歩を、「他者とつながる力［他者理解］・国や文化の異なる人とコミュニケーションを図る力［国際理解］を育みながら、自分の考えを表現すること」と捉えて、本研究を進めています。



公開授業は、1学年から5学年まで（各学年A・Bニクラスの学校です）10学級で展開します。どの学年も一クラスは「探究型教科横断学習」を公開します。国語(1年)・学活(4年)は日本語で、その他の三クラスは英語での授業(2・5年はEnglish[英語科]、3年はArts＆Crafts[図工])です。いくつかの教科をクロスして課題追究する単元の中の一授業をどうぞご覧ください。それ以外の5クラスは、フランス語の授業[1年]、英語での算数[2年：English Math、日本語での算数と連携]、3年と5年は日本語での「探究学習Special Japanese」、4年は国語の提案授業です。本校独自のスタイルやアプローチの授業をご覧ください。

開校11年目で初めての公開授業研究会ですが、ぜひご参加いただき、皆様とともに学び合い、これからの時代を生きる児童の育成の在り方を考えて参りたいと思います。

校長　佐藤　智子

探究型教科横断学習

本校が目指す「真の国際人」とは、異文化理解・多様性尊重、自己理解、主体性、地球的視野、協働、他者尊重、礼儀、探究心、問題解決力、自律性などを備え、よりよい社会や世界の実現に向けて学び続ける児童の姿です。これらの資質・能力を育成するために、本校では、児童が自ら問いをもち、各教科の学びを関連付けながら課題を追究する「探究型教科横断学習」を研究の中心に据えています。学びを実生活や社会、世界と結び付けることで、児童が学ぶ意味を実感し、自分の考えをもちながら、主体的に学び行動する力を高めていくことを目指しています。





Special Japanese（特別国語）

Special Japanese（特別国語）は本校独自の探究的な学びです。各学年のLearning Themeを通して「児童が問いをもち、調べ、比較し、考え、まとめ、表現する力」を育成します。Special Japanese（特別国語）では日本や世界について知識として学ぶだけでなく、社会や世界の出来事を自分との関わりの中で捉え、他者との対話や協働を通して考えを深めます。

また、学んだことを相手や目的に応じて表現・発信し、必要に応じて行動につなげていくことを大切にしています。

Special Japanese（特別国語）は国語科の時数の一部を活用して行うため、自分の考えを整理して話すこと、相手の話を聞いて考えを深めること、目的や相手に応じて伝え方を工夫することなど国語科の学びとも関連付けながら進めています。

Learning Theme for 2026
（本校が独自で設定している、年間の探究テーマ）

- 1年 毎日の楽しみと遊び
- 2年 日本と世界の生きもの
- 3年 日本と世界のくらし
- 4年 日本と世界の伝統文化
- 5年 世界の今と平和
- 6年 世界との共生 ー今 私にできることー